

平成21年9月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年4月30日

上場会社名 株式会社 フルキャストテクノロジー
 コード番号 2458 URL <http://www.fc-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

(氏名) 貝塚 志朗
 (氏名) 塚原 進午

TEL 03-4577-0200

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第2四半期の業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	3,981	△11.2	360	—	356	—	150	—
20年9月期第2四半期	4,484	4.4	△36	—	△34	—	△41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第2四半期	2,666.15	—
20年9月期第2四半期	△736.38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第2四半期	3,577	2,413	67.5	42,618.17
20年9月期	4,269	2,344	54.9	41,405.35

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 2,413百万円 20年9月期 2,262百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	500.00	—	—	500.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年9月期の業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	△26.2	150	—	141	—	0	—	0.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第2四半期 56,628株 20年9月期 56,628株

② 期末自己株式数 21年9月期第2四半期 一株 20年9月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年9月期第2四半期 56,628株 20年9月期第2四半期 56,618株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的な情報に記載のとおりであります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、世界的な金融不安による株価下落、為替相場の急激な変動、世界同時不況により、景気が急激に後退しました。雇用情勢につきましても景気後退に伴い、非正規従業員を中心とした雇用調整も顕著となってきております。

当社の主要顧客である製造業におきましては、景気低迷による企業収益の後退に伴い、大幅な減産、設備投資の抑制や雇用調整等を実施する企業が増加してきております。

当社の人材アウトソーシング事業におきましては、景気の後退に伴い顧客企業の契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等、非常に厳しい外部環境となっております。

このような状況の中、当社におきましては、人材の育成に注力し付加価値の高い人材サービスを提供することで顧客企業のニーズに対応してまいりました。

売上高につきましては、昨年2月に株式会社エグゼコムニケーションズの事業の譲受けにより事業開始いたしましたN&Sソリューション事業の売上高が寄与したものの、主力事業であるエンジニアアウトソーシング事業において、顧客企業における企業収益の後退に伴い、契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等により減収となり、当初計画を大きく下回りました。

利益につきましては、雇用確保を前提におきつつも、採用人数の抑制や、待機技術社員の休業措置、賞与支給率の引下げ等による人件費の削減、採用費用の削減、G.E.Tプログラム(※)の一時休止に伴う教育研修費の削減、寮の集約化等による家賃地代の削減、その他諸費用についても大幅な削減の取り組みにより当初計画を上回る経営成績となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高が3,981百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益は360百万円(前年同期は36百万円の営業損失)、経常利益は356百万円(前年同期は34百万円の経常損失)、四半期純利益は150百万円(前年同期は41百万円の純損失)となりました。

※G.E.TプログラムとはGlobal Engineer Training programの略で、日本人留学生および外国籍の技術者を対象として、採用および独自のプログラムに基づく研修の実施を行い、付加価値の高いエンジニアの採用・育成を実施する制度であります。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は3,577百万円(前事業年度は4,072百万円)となり495百万円減少いたしました。

主な要因は、四半期純利益150百万円の計上により繰越利益剰余金が増加したものの、売掛債権の減少302百万円、のれんの減損により85百万円減少したことによるものであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,508百万円(前事業年度は2,897百万円)となり388百万円減少いたしました。

主な要因は、売掛債権の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は1,068百万円(前事業年度は1,175百万円)となり106百万円減少いたしました。

主な要因は、のれんの減損によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の残高は1,164百万円(前事業年度は1,810百万円)となり646百万円減少いたしました。

主な要因は、賞与引当金の減少によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は827百万円(前事業年度は1,441百万円)となり614百万円減少いたしました。

主な要因は、賞与引当金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は336百万円(前事業年度は368百万円)となり31百万円減少いたしました。

主な要因は、長期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は2,413百万円(前事業年度は2,262百万円)となり150百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益増加に伴う繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より179百万円増加し、1,282百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は292百万円となりました。これは主に賞与引当金464百万円の減少があったものの、税引前四半期純利益267百万円の計上および売上債権の減少により306百万円計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は26百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出11百万円、無形固定資産の取得による支出15百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は86百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出36百万円、長期借入金の返済による支出50百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社の経営環境、業績動向等を勘案して、第2四半期累計期間および通期の業績予想の見直しを行い、平成20年11月4日公表の「平成20年9月期 決算短信(非連結)」に記載の業績予想を修正いたしました。詳細は、平成21年4月27日公表の「平成21年9月期 第2四半期累計期間および通期業績予想の修正ならびに特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ」をご持参下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

- ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価基準に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以降開始する会計年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,119	1,002,836
受取手形及び売掛金	924,637	1,240,433
有価証券	100,352	100,159
仕掛品	41	10,581
未取還付法人税等	—	107,774
繰延税金資産	118,019	272,751
その他	186,218	165,951
貸倒引当金	△2,637	△3,196
流動資産合計	2,508,750	2,897,292
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	20,502	33,386
工具、器具及び備品（純額）	46,616	49,554
有形固定資産合計	67,119	82,940
無形固定資産		
のれん	297,846	434,841
その他	63,043	26,230
無形固定資産合計	360,889	461,071
投資その他の資産		
投資有価証券	99,776	99,462
破産更生債権等	12,042	2,275
敷金及び保証金	368,787	398,736
その他	172,155	133,082
貸倒引当金	△12,042	△2,275
投資その他の資産合計	640,719	631,280
固定資産合計	1,068,728	1,175,292
資産合計	3,577,479	4,072,584

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,688	69,600
短期借入金	458,032	494,432
未払法人税等	12,420	—
賞与引当金	—	464,000
その他	339,464	413,892
流動負債合計	827,605	1,441,925
固定負債		
長期借入金	91,584	141,600
退職給付引当金	244,908	226,666
固定負債合計	336,492	368,266
負債合計	1,164,097	1,810,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,500	863,500
資本剰余金	734,700	734,700
利益剰余金	814,962	663,983
株主資本合計	2,413,162	2,262,183
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	219	209
評価・換算差額等合計	219	209
純資産合計	2,413,381	2,262,393
負債純資産合計	3,577,479	4,072,584

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	3,981,489
売上原価	2,770,091
売上総利益	1,211,398
販売費及び一般管理費	850,767
営業利益	360,630
営業外収益	
受取利息	1,326
受取配当金	240
還付加算金	3,301
その他	440
営業外収益合計	5,309
営業外費用	
支払利息	7,128
為替差損	1,110
その他	721
営業外費用合計	8,959
経常利益	356,980
特別利益	
受入助成金	21,539
特別損失	
固定資産除却損	244
減損損失	85,059
雇用調整支出金	24,857
その他	972
特別損失合計	111,133
税引前四半期純利益	267,386
法人税、住民税及び事業税	6,269
法人税等調整額	110,138
法人税等合計	116,407
四半期純利益	150,978

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	1,760,400
売上原価	1,067,927
売上総利益	692,473
販売費及び一般管理費	370,311
営業利益	322,162
営業外収益	
受取利息	1,009
受取配当金	104
還付加算金	3,301
その他	318
営業外収益合計	4,734
営業外費用	
支払利息	3,831
為替差損	△320
その他	298
営業外費用合計	3,809
経常利益	323,086
特別利益	
受入助成金	21,539
特別利益合計	21,539
特別損失	
固定資産除却損	13
減損損失	85,059
雇用調整支出金	24,857
特別損失合計	109,930
税引前四半期純利益	234,695
法人税、住民税及び事業税	3,104
法人税等調整額	95,669
法人税等合計	98,773
四半期純利益	135,921

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間
(自 平成20年10月1日
至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	267,386
減価償却費	26,800
のれん償却額	51,935
ソフトウェア償却費	4,264
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,207
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△464,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,000
受取利息及び受取配当金	△1,567
支払利息	7,128
受入助成金	△21,539
減損損失	85,059
固定資産除却損	244
売上債権の増減額 (△は増加)	306,029
前受収益の増減額 (△は減少)	8,286
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,539
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51,912
未払金の増減額 (△は減少)	△24,787
未払費用の増減額 (△は減少)	△80,743
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,724
その他	152,241
小計	298,846
利息及び配当金の受取額	1,271
利息の支払額	△7,050
法人税等の支払額	△643
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△11,426
無形固定資産の取得による支出	△15,142
貸付金の回収による収入	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△36,400
長期借入金の返済による支出	△50,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,416
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	179,474
現金及び現金同等物の期首残高	1,102,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,282,471

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「ご参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	4,484,512	100.0
II 売上原価	3,455,816	77.1
売上総利益	1,028,696	22.9
III 販売費及び一般管理費	1,065,351	23.7
営業損失	△36,654	△0.8
IV 営業外収益	7,433	0.2
V 営業外費用	5,148	0.1
経常損失	△34,370	△0.7
VI 特別利益	1,075	0.0
VII 特別損失	32,665	0.7
税引前中間純損失	△65,961	△1.4
法人税、住民税及び事業税	8,497	
法人税等調整額	△32,766	△24,268
中間純損失		△41,692

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純損失	△65,961
減価償却費	11,472
貸倒引当金の減少	△1,710
賞与引当金の増加	69,000
退職給付引当金の増加	15,967
受取利息及び受取配当金	△7,378
支払利息	4,111
固定資産除却損	85
投資有価証券評価損	499
ソフトウェア償却費	4,991
のれん償却費	26,035
売上債権の増加	△101,762
たな卸資産の増加	△3,280
仕入債務の減少	△18,346
前受収益の増加	3,152
未払金の増加	34,573
未払費用の増加	22,716
未払消費税等の減少	△45,471
その他	△45,833
小計	△97,140
利息及び配当金の受領額	6,828
利息の支払額	△4,346
法人税等の支払額	△133,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	△228,254
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△16,150
営業譲受けによる支出	△388,495
貸付による支出	△430,000
貸付金の回収による収入	430,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△404,578

	前中間会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額 (千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	352,000
長期借入金の返済による支出	△16,680
株式の発行による収入	500
配当金の支払額	△56,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	279,398
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△353,434
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,642,360
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,288,925

6. 四半期毎の推移

平成21年9月期

	第1四半期 平成20年10月～ 平成20年12月		第2四半期 平成21年1月～ 平成21年3月		第3四半期 平成21年4月～ 平成21年6月		第4四半期 平成21年7月～ 平成21年9月	
		千円		千円		千円		千円
売上高	2,221,088		1,760,400		—		—	
売上総利益	518,924		692,473		—		—	
営業利益	38,468		322,162		—		—	
経常利益	33,893		323,086		—		—	
税引前四半期純利益	15,056		234,695		—		—	
四半期純利益	32,690		135,921		—		—	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり四半期純利益	265	89	2,400	26	—	—	—	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
		千円		千円		千円		千円
純資産	2,277,490		2,413,381		—		—	
総資産	4,255,123		3,577,479		—		—	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり純資産	40,218	45	42,618	17	—	—	—	—
		千円		千円		千円		千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,908		172,516		—		—	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,677		△2,856		—		—	
財務活動によるキャッシュ・フロー	322,592		△409,008		—		—	
現金及び現金同等物期末残高	1,521,819		△239,348		—		—	

平成20年9月期

	第1四半期 平成19年10月～ 平成19年12月		第2四半期 平成20年1月～ 平成20年3月		第3四半期 平成20年4月～ 平成20年6月		第4四半期 平成20年7月～ 平成20年9月	
		千円		千円		千円		千円
売上高	2,264,227		2,220,284		2,297,128		2,301,308	
売上総利益	487,002		541,693		487,623		614,901	
営業利益	△47,321		10,666		△74,589		114,850	
経常利益	△45,544		11,174		△76,864		112,204	
税引前四半期純利益	△45,829		△20,131		△116,140		34,716	
四半期純利益	△30,865		△10,827		△76,745		22,826	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり四半期純利益	△545	25	△191	23	△1,355	43	403	13
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
		千円		千円		千円		千円
純資産	2,355,639		2,344,701		2,239,610		2,262,393	
総資産	4,426,764		4,269,042		4,459,055		4,072,584	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり純資産	41,598	50	41,405	35	39,549	52	39,951	85
		千円		千円		千円		千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	△257,870		30,115		△416,923		226,680	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345,574		△59,003		93,215		△57,432	
財務活動によるキャッシュ・フロー	589,138		△310,240		449,699		△481,168	
現金及び現金同等物期末残高	1,628,053		△339,127		125,990		△311,920	